ADVENTURE (Agent	■□×	
ファイル メッシュ 滑折	Ø∋2.9 ▼	
現在の解析設定: 解析タイプ: 横浩解析 - 綿形弾性解析	localhost	
要素タイプ: IGES/四面体 2次要素	CPUN(1)	
クラスタ使用方法:単一ブロセッサ 解析ケーフファイル:(新知解析ケーフ)		
	advvis	_ = ×
最初にINPファイルを開きます。 (adwis)ウインドウの(File)->(Ope n)をクリックして下さい。	File Server Window Help	
ADVENTURE	Visualization: Geometry 🗆	
	Mode: Solid	
	Decompose: a aaaaa	
■ 手順打イド - □×		FI
III 開始	Paint	
"File" "Open"	Color	
🔲 "Solid.inp" を選択し、"OK"		
Server" "Initialize"		
"File"		
Solid.Ist" を選択し、"OK"		
"ОК"		
Server" "Control"	(a)	
🔲 "Start"		
Connect"		
Read Analysis Model Dataset"		100
Read Result Dataset"		

図 27 advvis 起動画面

表示の準備

AdvVisual はクライアント・サーバ型の可視化システムです。そのため、サーバ起動の手 続きを最初に行います。

まず、advvis ウィンドウの"File"→"Open"をクリックして、入力定義ファイルを読み込み ます(図 28)。

📕 Open File Selection Dialog 🛛 🛛 🗙			
Filter			
/homelyodol.iAgent/temp/*			
Directories Files			
p/.	Solid.		
p/	'Solid.adv		
p/modei	'Solid.cnd		
p/result	'Solid.conf		
	'Solid.igs		
	Solid.inp		
	Solid.log		
	Solid.log.bak		
Selection			
/home/yodo/.iAgent/temp/			
ОК	Filter Cancel		

図 28 入力定義ファイルの選択

"Solid.inp"というファイルがありますので、これを選んで"OK"を押してください。

次に、サーバの設定を行います。advvis ウィンドウの"Server"→"Initialize"をクリックすると、サーバ設定ウィンドウが現れます(図 29)。

Server Module Setting Dialog Master Server Iocalhost Number of Slaves: I I Port(CM): Host List I	Port(MS): 33333
	▲ Insert Append Remove Clear File Save Save As
OK Cancel	

図 29 サーバ設定ウィンドウ

ここでは、サーバを起動するマシンを入力します。すでに iAgent がサーバリストを用意 しているので、ここではそれを読み込みます。**ウィンドウ右側の"File"ボタンをクリック**し てください。ファイル選択ウィンドウが出てきます(図 30)。



ここでは、"Solid.lst"ファイルを選択して、"OK"を押してください。サーバ設定ウィン

ドウ中央の"Host List"に、使用中のホスト名が追加されているのを確認して、"OK"を押し てください。

モデル読み込み

モデルを読み込むには、advvis ウィンドウの"Server"→"Control"をクリックしてください。 サーバ接続ウィンドウが開きます(図 31)。